

- 日販協近畿報
1. 世界に誇る戸別配達制度を堅持しわが国の政治・経済・文化の発展と民主主義の擁護に貢献する
 2. 新聞の持つ公器性に基づき公正な販売を期する
 3. 新聞販売店共通の目的である経営の健全化を追求する

日販協近畿報

https://nippankyo-kinki.com

一般社団法人日本新聞販売協会近畿
大阪市北区天満4丁目14-19
天満パークビル4階
電話06(6450)5671/FAX06(6450)5672
npl-kinki 2 @vivid.ocn.ne.jp
発行責任者 真辺 諒司
広報委員長 岩田 達承

第2回通常総会を開催 真辺体制スタート 2025年度も休刊日増設、手数料増額を訴える



理事ら約70人が出席した第2回通常総会と臨時理事会（5月20日、大阪市北区のガーデンシティクラブ大阪）

一般社団法人日本新聞販売協会近畿（日販協近畿）は5月20日、大阪市北区のガーデンシティクラブ大阪で第2回通常総会と臨時理事会を開き、理事ら約70人が出席した。水谷和郎理事長（毎日・浅香駅前）が退任し、真辺諒司専務理事・総務統括（毎日・西明石）を第3代理事長とする新体制を発足した。任期は1年。

日販協近畿は2025年5月に任意団体から一般社団法人に移行し、今回の総会が一般社団法人として2回目の通常総会となる。水谷理事長が病気で不在の間、理事長代行を務めた小西康弘副理事長（読売・柏原）は第2回通常総会を事務総会とすることにし、議決権行使の提出を会員に求めた。その結果、会員1055に対して811件の議決権行使が提出された。行使率は約76%、総会成立となった。

通常総会では真辺専務理事・総務統括の司会で行った。冒頭、物故会員（元会員22、現職会員2）に黙祷を捧げた。

挨拶に立った小西副理事長は人手不足、物価高騰、最低賃金の引き上げといった販売店経営を取り巻く厳しい環境にふれたうえで「日販協近畿は休刊日増設と最低賃金に対応できる販売手数料を求め声を上げていく」と意気込みを述べた。

辻昭彦専務理事（京都・羽拍子）を議長に選出し、議事が行われた。24年度事業、同収支決算、同監査、新理事・新監事選任、25年度事業計画、同収支予算の各議案が承認された。

総会に続いて臨時理事会が行われ、真辺専務理事・総務統括を理事長とする役員体制を決めた。真辺新理事長は挨拶で「戸別配達を担う販売店の経営を守るため、引き続き一丸となって業界の発展、活字文化の発展に取り組んでいく」と抱負を語った。来賓挨拶では、関西五代会（販売局長会）の北山勝副代表幹事（読売新聞大阪本社取締役販売局長）が、関西地区の現地会における6・8ルールの合意状況を説明し、「早期の100%合意が大きな方針」と販売正営化実現へ協力を求めた。

このほか、公明党の杉久武（きき・ひさたけ）参院議員（大阪選挙区選出）、日販協近畿の顧問弁護士を務める小寺陽平氏、顧問税理士の田中明氏らがそれぞれ挨拶。会費を代表して中野老親大阪府中部支部長（毎日・瓢箪山）が代表意見を述べた。

※各氏の挨拶は2〜4面に掲載

2025年度 一般社団法人日本新聞販売協会近畿の体制

理事長	真辺 諒司（毎日・西明石）
副理事長	小西 康弘（読売・柏原）
専務理事・総務統括	辻 昭彦（京都・羽拍子）
専務理事	岩田 達承（朝日・千里山）
専務理事	保田 満範（産経・大正南）
専務理事	畑 善章（神戸・春日）
専務理事	大塚 玲（日経・九条）
常任顧問	高橋 宗浩（初代理事長）
常任顧問	山田 貞夫（前日販協近畿会長）
常任顧問	山内 信幸（朝日・夙川）
常任理事	片川 章（朝日・学園前）
常任理事	明智 隆夫（産経・津田）
常任理事	立松 英樹（産経・高槻東）
常任理事	田中 淳志（産経・生駒）
常任理事	中田 純司（京都・山科大石）
常任理事	中尾 臣裕（京都・亀岡）
常任理事	中村 龍男（毎日・豊中）
常任理事	桐山 政孝（毎日・郡山南）
常任理事	吉岡 大輔（読売・高槻南）
常任理事	瀬島 義郎（読売・明石大久保）
常任理事	小寺 達義（読売・草津西）
常任理事	松田 公仁（神戸・原居台橋）
常任理事	播田 伸治（神戸・加古川）
常任理事	佐野 雅一（日経・大阪中央）
常任理事	中村 次郎（読売・鳴野）
常任理事	山本 顕三（朝日・小野原）
常任理事	大塚市連合支部長
常任理事	大阪府北部支部長
常任理事	大阪府中部支部長
常任理事	大阪府南部支部長
常任理事	京都市支部長
常任理事	京都府北部支部長
常任理事	京都府南部支部長
常任理事	阪神支部長
常任理事	神戸支部長
常任理事	明石西神戸淡路支部長
常任理事	兵庫東支部長
常任理事	北兵庫支部長
常任理事	滋賀東支部長
常任理事	奈良三重支部長
常任理事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）
監事	山本 雅則（読売・東貝塚）
監事	大塚市連合支部長
監事	大阪府北部支部長
監事	大阪府中部支部長
監事	大阪府南部支部長
監事	京都市支部長
監事	京都府北部支部長
監事	京都府南部支部長
監事	阪神支部長
監事	神戸支部長
監事	明石西神戸淡路支部長
監事	兵庫東支部長
監事	北兵庫支部長
監事	滋賀東支部長
監事	奈良三重支部長
監事	和歌山支部長
監事	伊藤 泰宏（読売・和歌山南）
監事	紙谷 昌法（産経・真菅）
監事	濱本 博樹（朝日・堅田）
監事	藤原 成靖（朝日・成松）
監事	内間 良仁（毎日・姫路中央）
監事	森本幸太郎（読売・西明石）
監事	二宮 泰彦（神戸・垂水）
監事	春日 全孝（毎日・宝塚北）
監事	今村 貴司（読売・宇治久保）
監事	春日 貴司（読売・宇治久保）
監事	竹中 雅之（京都・桃山北）
監事	竹本 雅則（読売・東貝塚）
監事	中野 宅視（毎日・瀬田山南）

戸別配達を担う販売店の経営を守る



抱負を述べる真辺理事長

現場からできることを実行

真辺讓司理事長の所信表明

アメリカではトランプ政権が復帰した。経済や安全保障の面でも再び不透明な状況に入りつつある。こうした大きな国際状況の変化はエネルギー価格や原材料費にも波及し、間接的ではあるが、私たちの業界にもじわじわと影響を及ぼして

く可能性がある。

一方、国内は少子高齢化が一段と進み、働き手が減る中、新聞配産を担える人材の確保が難しくなっている。

そして無読の増加に伴い、若い人がこの仕事を知らない傾向があり、職業と

そんな中、「経営難で辞めることのない業界にしたい」とスタートした自販協近畿の2024年度だった。が、残念ながら1年で支店店合わせて100店がなくな

なるという厳しい結果となった。このことは私どもの組織運営に影響を及ぼし、今後より一層の努力を求められるのではないかと考えている。

にポトムアップ型で取り組んでいる組織だ。販売店を取り巻く環境の変化に対して、日販協近畿は事業委員会と業務委員会、その中にセクションを作って取り組んでいる。これからも一丸となって業界の発展、活字文化の発展のために取り組んでいく。

て、販売手数料の適切な価格転嫁実現に向けて話し合いを要望していく。

②休刊日の増設。働き方の見直しが社会全体に広がる中、新聞販売店だけが週7日間稼働するのは限界ではないか。過労死という痛ましい事例も発生しており、生命と生活を守るためにも

して消費税の減税や学校図書館への新聞配備への要望、フリーランス採用に後押しをもらえるよう進めていく。(週2回以上)の定額減税の新聞は消費税の軽減税率対象になっているとはいえず、課税しないくらいの大胆な減税を求めている。学校図書は東大阪市

⑥我々販売店は地域の
方々と日常的に接するア
ヒューマンサービスのプロ
だ。新聞の配達を超えた見
守りや声かけは社会から評
価されている。新聞販売店
は介護保険外の高齢者終身
サポート事業との相性は良
いと考えられる。事業化に
向けた情報をお客の皆さん

あると感じている。引き続き関係団体や行政に対して要望していく方針だ。そして地域貢献により一層、力を入れていきたい。

取り組む六つの柱は――

①人件費が上昇する中、政府のガイドラインに沿っ

③真夏の配達の配慮。気温35度を超える中での配達には命懸けだ。義務化されなれた熱中症対策に加えて、具体的な運用ルールを考えていきたい。

④日販協政治連盟と連携

⑤従業員の雇用では成り立たなくなってきたという。今、フリーランスの力を借りる必要がある。脱法的雇用と誤解されないよう、有効性や必要性を行政にも訴えていきたい。

守るべきは戸別配達制度で、それを支える販売店の暮らした。不透明な時代だからこそ、私たちは地に足をつけ、現場からできることを二つずつ実行し、日販協近議として1年間取り組んでいく。

今期取り組む六つの柱

- ① 政府のガイドラインに沿って、販売手数料(折込手数料)の適切な価格転嫁実現に向けて話し合いを要望
- ② 休刊日の増設を要望。生命を守るためにも制度的休日が必要
- ③ 「熱中症対策」に加えて、具体的な運用ルールを検討
- ④ 日販協政治連盟と連携して消費税の減税や学校図書館の新聞配備を要望
- ⑤ 従業員の雇用では成り立たなくなっている中、フリーランスの有効性と必要性を行政に訴える
- ⑥ 販売店の収益増のために、介護保険外の「高齢者終身サポート」の事業化に向けた情報提供

あると感じている。引き続き関係団体や行政に対して要望していく方針だ。そして地域貢献により一層、力を入れていきたい。

取り組む六つの柱は――

①人件費が上昇する中、政府のガイドラインに沿っ

③真夏の配達の配慮。気温35度を超える中での配達には命懸けだ。義務化されなれた熱中症対策に加えて、具体的な運用ルールを考えていきたい。

④日販協政治連盟と連携

⑤従業員の雇用では成り立たなくなってきたという。今、フリーランスの力を借りる必要がある。脱法的雇用と誤解されないよう、有効性や必要性を行政にも訴えていきたい。

守るべきは戸別配達制度で、それを支える販売店の暮らした。不透明な時代だからこそ、私たちは地に足をつけ、現場からできることを二つずつ実行し、日販協近議として1年間取り組んでいく。

にポトムアップ型で取り組んでいる組織だ。販売店を取り巻く環境の変化に対して、日販協近畿は事業委員会と業務委員会、その中にセクションを作って取り組んでいる。これからも一丸となって業界の発展、活字文化の発展のために取り組んでいく。

て、販売手数料の適切な価格転嫁実現に向けて話し合いを要望していく。

②休刊日の増設。働き方の見直しが社会全体に広がる中、新聞販売店だけが週7日間稼働するのは限界ではないか。過労死という痛ましい事例も発生しており、生命と生活を守るためにも

販売正常化へ一層協力を

関西五日会・北山勝副代表幹事



関西五日会・北山勝副代表幹事

我々新聞業界は劣務難
る良質な情報を読者に届
ける戸別配達制度を業界
拡大による購読率の低
下、それに伴う折込の減
ばならない。

少、数々の問題を抱えている。システムを超えた日販協近畿の活動が業界の問題解決には欠かせない。

中央協では2025年度の活動方針が策定された。一つ目は販売改革の推進と訪問販売規制への

昨年の兵庫知事選挙ではSNSによって拡散された真偽不明の情報が選挙結果に大きな影響を与え、改めて正確で信頼できる情報の重要性が浮き彫りになった。そんな時代だからこそ、信頼でき

対応。二つ目は新聞無購読層への対策。三つ目は新聞販売店の業務対策としての新聞配達PR活動。この三本柱を着実に進捗させ、販売店の経営基盤強化に貢献したい。

特に二つ目の販売改革

の推進と訪問販売規制の対応は近畿管内で喫緊の課題だ。

関西新聞販売改革推進
会議が今年も3月に開催
され、2024年度の取
り組みを報告した。6・
8ルールの合意状況は近

設管内355現地会にお
 いて新規は207現地会
 58・3%、継続は144
 現地会40・6%となっ
 ている。早期の100%合
 意が大きな方針だ。

関西五日会として①多
 支部協に重点地区を設け

大阪府、兵庫県、京都府においては数値目標を立て、発行本社、支部協が責任を持って取り組むと。②全現地会の定例化と活性化。③消費生活センターとの連携および消費者行政の対応強化。三本柱として指示している。販売正常化へ一層ご協力をお願いする。

現場の声を議会に届ける

公明党大阪府本部代表代行・杉久武参院議員



公明党・杉久武参院議員

昨日(4月19日)、日販協近畿幹部の皆さまと意見交換をさせていただいた。皆さまの声をしっかりと受けとめて、それを行政へつないで、一つひとつ課題を解決していく。

ろがある。我々は8%の税率をどうするかという土俵で議論をしているので、新聞だけがどこか違うところへ行くということはない。これからの1カ月くらいが政治的には議論の山場になるだろう。

課題の一つ目は消費税の軽減税率だ。いま軽減税率をどうすべきか、いろんな政党が引き下げ等を訴えているが、報道では「食料品の税率をどうするか」という切り取り方をされてしまうとこ

う。二つ目は人手不足の問題だ。いま賃金そのものの底上げのために、最低賃金の引き上げというのが国の大きな流れになっている。一方で多様なニーズに応える働き方も

大切だ。ポトムアップ（最賃引き上げ）は何よりも大事なことが、一方で様々な現場の状況に踏まえた柔軟な働き方というものも、やはり政治の責任として作り上げていかなければいけないと思っている。

最後の三つ目は学校図書館への新聞配備。「墓飾方式」と言われる方式が大阪でも東大阪でスタートしたということも同っている。この問題についても我々公明党は国

会程表に取上げられておられ、昨日、参議院の法務委員会が国会で行われたが、我が党の佐々木さやか議員がこの問題を取り上げ、文科大臣に質尋ねした。

皆さまの現場の声を聞政だけではなく、地方の各自自治議会においてもしっかりと届けていく所存だ。

会員の声を代弁していく

日販協近畿・小西副理事長



日販協近畿・小西副理事長

日販協正議の運営の基
本は会員の課題を支部長
が吸い上げ、委員会を組
織する常任理事が討議の
中で解決策を模索し、委
員も適用されている。私た
ち新聞販売店はその使命
から読者のもとへ新聞を
届ける努力を重ねてきて
いた。

専務理事がリードし、執行部三役が統括している。しかし人手不足は深刻化し、産業間の人材の獲得競争は熾烈さを増し、

く、ホム・アツツの題意
解決型組織だ。
世界に冠たる戸別配達
網を張る巡らせた日本の
新聞は、知る権利に依る
る公共性を認められ、同
一紙同一価格という再販
制度、消費税の軽減税率
賃金はこれからの数年間
で大幅に引き上げられ
る。こうした労働環境の
中、週休二日が組んで、
疲弊し廃業を招いている
。また人手不足は実勢
時給の高騰を誘引し、新

聞販売店にとつて経営上死活的な課題だ。このよ
うな事情を踏まえ、労務
問題に取り組み、休刊日
の増設、最低賃金の上昇

に見合った定価および原価設定になるよう取り組んで参りたい。

の危険を伴う水準に至り、昨年も熱中症による死亡事例が複数発生しているが、今年6月からは事業主が熱中症対策に取り組むことが義務化される。周知に取り組んでいかなければならない。

休日日増設、最低賃金への対応はいずれも労務問題であり、根幹は経営問題だ。このような声を代弁するために日販協は存在する。これから日販協近畿は休日日増設と最低賃金に対応できる販売手数料を求め声を上げて行く。ご理解とご協力を。

一般社団法人日販協近畿の第2回通常総会・臨時理事会 各氏の挨拶

一般社団法人日販協近畿の第2回通常総会と臨時理事会 5・20 大阪

現場の苦しみに寄り添う

日販協近畿顧問弁護士・小寺陽平氏



小寺陽平弁護士

私は10年ほど前から通常総会に何度か出席しているが、挨拶は初めてだ。10年前と比べて総会の内容が大きく変わってきていると感じる。昔は販売正常化の話がメインで、大勢の会員が販売正常化に向けて氣勢を上げていたのが印象に残っている。

公取からガイドラインが出ている労務費等の価格転嫁に関して「なかなか思うように進まない」という話があり、今年1

月13日付の日販協近畿報に私の記事を書かせていただいた。最低賃金の引き上げも課題だが、人が足りない。現場の声を事務局から間接的に聞いている。先ほど理事長からお話があったような「新しい事業の取り組みをして販売店を助けられないか」とか、「日販協近畿として何ができるのか」ということを真剣に考えているらっしゃる。この1年ほどは、過去と比べてご相談をいただくことが多くなった。

販売正常化など大きな問題があると思うが、本日も販売店もすごく苦しい事業環境の中で、どんなふうにも出口を求めるのか、解決策を考えるのか。

我々弁護士の立場で何か明確な答えがあるわけではないが、ただ「一言えることは、現場で働いている方が苦しい思いをしている」と、たぶん仕事は絶対にできないんだろ

うなど。そこを日販協近畿として販売店の皆さまにフィードバックできる何かを準備していくこととされている。

販売手数料、折込手数料の引き上げについて交渉されている個々の販売店さんを日販協近畿としてサポートしているのか、と聞いているので、引き続き協力していきたい。

お店が生き残る理由とは

日販協近畿顧問税理士・田中明子氏



田中明子税理士

私は税理士の仕事をし

て30年が経つ。初めのころから新聞販売店さんの会計・税務の手伝いをしていた。販売店さんが多いときに比べると、残念ながら減っている。

ただ、私が皆さんにお伝えしたいのは、30年前からたどってきた生き残っている販売店さんがたくさんあるということ。販売店さんからはいつも「厳しい業況だ」という話を聞いている。いまも毎月、販売店さんの中財

務状況を見させていた

だいて、所長さんお話をさせていた

自身の子供の状況を毎月きちらん見られていますか」ということ。それは数字として、この業界、販売店さんだけでなく、とした経営ができるかというところ、それは非常に難しい。メーカーさんもお店の数に對して縮小している。どう対応していくかということがベ

先ほど真田理事長が販売店さんは「ヒューマンサービスのプロ」とおっしゃったが、すごく素敵な言葉だ。いまいろんなフェイクニュースがある中で新聞の信頼性を業界として誇りを持っていただきたい。地域のみならず、全国を求めているのか、販売店さんとメーカーさんが一体となってニーズを掘り起こし、サービスを生んでいくことが必要だと思

業界一丸で未来を拓こう

大阪府中部・中野宅視支部長(毎日・瓢箪山南)



代表意見を述べる中野支部長

【代表意見】2008年、そんな現地会がある日を境に「6・8年」に東大阪、瓢箪山南販売所で創業した。当時、瓢箪山南は他紙も商品券やエスをつけたという感じが、あらゆるサービスをして購読につなげる努力をしていた。いま思えばめっちゃくちゃな時代だった。現地会は必ず本社担当員が参加したが、小競り合いが絶えなかった。

しかし、そんな現地会がある日を境に「6・8年」に東大阪、瓢箪山南販売所で創業した。当時、瓢箪山南は他紙も商品券やエスをつけたという感じが、あらゆるサービスをして購読につなげる努力をしていた。いま思えばめっちゃくちゃな時代だった。現地会は必ず本社担当員が参加したが、小競り合いが絶えなかった。

開を月に1度開ける活動は今年で3年目。無購読対策になればと期待を込めている。エリア内の4中学校の生徒に新聞を届けて家待ち帰ってもらっている。授業前、生徒たちが新聞に目を通し、学校によっては掲示板に新聞の切り抜きを張ってもらっている。

東大阪では今期6月から小・中学校の新聞に購読予算がついた。数年にわたる活動なので達成感がある。

キーワードは「飲みニケーション」。とにかく毎月みんなで集まること。それと全紙(4紙)で行動したことが良かった。

業界一丸となれば、まだまた未来はあるのかなと思う。日販協近畿もだいたい変わった。一丸となつて次のステージに行ければ幸いだ。

中学校に新